

◆特集◆ 『サイエンスパーク・能代市子ども館』リニューアル ～日本一の宇宙教育施設を目指して～

『能代市子ども館』

宇宙のまち能代の象徴の一つでもあります、子ども館（愛称：サイエンスパーク・能代市子ども館）は、子供たちが遊び、学び、交流することを通して、無限の夢と希望を育み、心豊かに育つことを願い、その手助けをするための施設として昭和62年4月にオープンしました。見て、触れて、感じることでできる全国的にも珍しい施設で、長年地域に親しまれているだけでなく、県内外から多くの来館者を集めています。

リニューアルの変遷

能代ロケット実験場を縁に、JAXA宇宙科学研究所や、JAXAの研究施設がある自治体で構成する友好都市「銀河連邦」の協力を得て、平成24年には2階展示エリアを宇宙館とし、平成30年にはプラネタリウムのリニューアルを行いました。今回、1階展示エリアを防災や動植物などを学ぶ自然科学館としていたものが今月29日（土）からはノシロラボ・キ

銀河連邦

JAXAの研究施設が置かれている、または、置かれていた北海道大樹町・岩手県大船渡市・宮城県角田市・神奈川県相模原市・長野県佐久市・鹿児島県肝付町・能代市の5市2町で構成されている交流組織であり、銀河連邦共和国の名称で、相互の発展と宇宙への夢とロマンを育むことを目的として、各共和国間の小学生による子ども留学や農産物、特産品販売などの各種交流活動を行い、友好関係を築いています。また、構成自治体の間で災害時応援協定が結ばれており、防災組織としての機能も有し、東日本大震災時には大船渡市、令和元年の台風19号の水害では、角田市や佐久市に災害派遣を行いました。

ツラボ・チキウラボ・ウチユウラボの4つのラボからなる『ノビシロ宇宙ラボ』へと生まれ変わります。

今回のリニューアルの内容

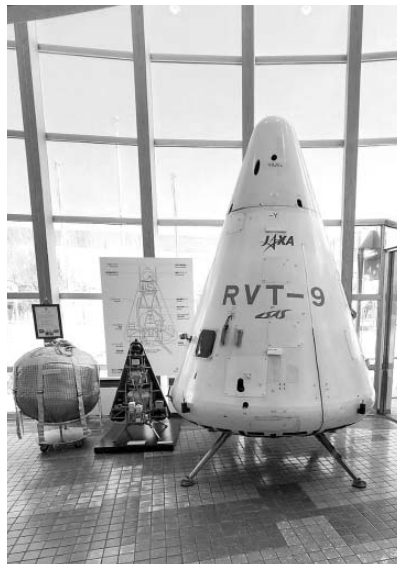
展示室の吹き抜けに3層構造になっている大型ネット遊具を設置し、JAXA能代ロケット実験場石井信明前所長の監修による再使用ロケットをモチーフにしたフォトスポットや、宇宙望遠鏡から見た天体の映像を探索機の窓から見えるようにした展示を行います。また、タブレット端末3台を配置し、人工衛星の役割や、宇宙ゴミを片づけるゲームなどが体験できるほか、未就学児専用のエリアには宇宙に関する絵本やおもちゃなどを配置して、より宇宙や科学に親しみ楽しんでもいただけます。



大型ネット遊具

既存の施設

1階には、ちびっこ広場や読書をするスペースのほか、先月搬入された再使用ロケット（RVT-9）の実機があります。2階には実際のロケットの打ち上げに使用した資機材や、はやぶさ、M-Vロケット、小惑星イトカワの模型など、貴重な資料等の展示、プラネタリウムなど、子供だけでなく大人も楽しめるようになっていきます。また、隣接する河畔公園には、宇宙ステーションをイメージした大型遊具等が設置されているほか、芝生の広場もありますので、是非遊びにいらしてみたいかがでしょうか。



再使用ロケット (RVT-9)

サイエンスパーク・能代市子ども館

(場所) 大町10-1  
(TEL) 52-1277  
(開館時間) 9時～17時  
(休館日) (休日)  
月曜日、第4金曜日、祝日の翌日、年末年始等

取材：阿部 誠 藤田拓翔 渡邊正人